

SSK銀鈴増刊



ぎんれいだより

R5年春号

編集：公益社団法人銀鈴会
東京都港区新橋 5-7-13
ビュロー新橋 901
電話：03-3436-1820

1971年6月17日第3種郵便物認可
(毎月6回5の日・0の日発行)
SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより
NO.17 2023年5月10日発行
定価50円
発行：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102

2023年度 活動にあたって 会長 渡邊 操

賛助会員の皆さま、会員の皆さま、日頃からの当会の活動に対するご支援、ご協力に改めて感謝申し上げます。

一昨年はコロナ禍により教室はもちろん行事のほとんどの中止や延期を余儀なくされましたが、昨年度は世界はもちろん日本のイベントも感



染防止策を施しながらの再開が可能とされました。銀鈴会も同年度は全国喉摘者発声大会をはじめ、定期総会、

声の祭典カラオケ大会、スピーチ発表会・家族座談会などの行事を無事終わらせることができました。会員の皆さまと心の触れ合いや交流を通して当会の「絆」の大切さを改めて実感しました。

人と人との結びつき、支え合いや繋がりを表すこの「絆」という言葉ですが、私たちを取り巻く世界に目を向けますと、残念ながらコロナ架やロシアのウクライナ侵攻などで格差や分断が進み、国と国、人々との繋がりが危ぶまれています。貧困や環境問題も深刻です。こうした困難に直面する中に合せて、私たち一人一人がまず身近な周りの人たちに気を遣うなど、安心して教室に通ってこられる環境作りに取り組みむことが会員の皆さんへの大切な一歩かと痛感しています。

2023(令和5)年度、政府としてはコロナ感染症の5類への変

更やマスク着用の個人判断などとする方針となりましたが、銀鈴会では、我々は気管孔呼吸で肺で直接呼吸しているなど、高リスクの会員が多くこれまで通りマスク着用での教室来訪を推奨しています。そしてこれまでも通り入室での検温、手指の消毒、フェイスマスク着用での指導を行っています。発声訓練の安全確保に努めてまいります。

また、行事としましては6月の定期総会と声の祭典(本年はスピーチ大会)、明年2月のスピーチ発表会と家族座談会と恒例イベントをいろいろ、折に触れて講演会やセミナーなどを行って会員の皆さまにより有意義な発声教室にしていきたいと考えています。その他従来より進めているJICA支援のベトナム訓練2年目を迎え、渡航の回数を増やして対面による訓練でさらに多

- 2023(令和5)年度の主な活動
- 1) 定期総会・声の祭典(スピーチ大会)
6月17日(土)午前10時より
- 2) スピーチ発表会・家族座談会
2024(令和6)年2月17日(土)
場所：東京都障害者福祉会館(港区三田)

くの喉摘者を救っていきいたいと考えています。

一方、国内では会員の高齢化や減少策として、既存パンフレットをもつて自治体に会の存在とその意義を訴えていたり、正力厚生財団の支援を得て作成した銀鈴会の紹介を行うDVDを、会員の方はもちろん医療関係者や自治体などに配布してPR活動を行うと同時にホームページにも掲載して大きく当会を知っていただく活動も行っています。

財政的には依然厳しいものがありますが、引き続き古本募金のお願いや賛助会員のさらなるご支援のお願いを推し進めてまいります。2023(令和5)年度も銀鈴会会員の皆さま、賛助会員の皆さま方の一層のご協力、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第42回家族座談会開催 2022年度

2023(令和5)年2月18日(土)13時より港区三田の東京都障害者福祉会館にて、銀鈴会常任顧問の吉原俊雄先生をお招きして「第42回家族座談会」を開催しました。



今年度最後の座談会は3年ぶりという開催ということもあり、吉原、会員、その家族併せて100名近い参加者がありました。この座談会では、手術による後遺症のお悩み、日常生活でのお悩みを、医学的見知からは耳鼻咽喉科専門医の吉原俊雄先生、日常生活や発声方法などのお悩みについては発声訓練士が、事前

に頂いた19名の会員からのご質問にお答えいたしました。吉原先生には質問者と直接対話しながらの回答をいただき、参加した家族を含め会員の方たちが熱心に聞き入っていました。



スピーチ大会出場者の方々

い参加者がありました。この座談会では、手術による後遺症のお悩み、日常生活でのお悩みを、医学的見知からは耳鼻咽喉科専門医の吉原俊雄先生、日常生活や発声方法などのお悩みについては発声訓練士が、事前

に頂いた19名の会員からのご質問にお答えいたしました。吉原先生には質問者と直接対話しながらの回答をいただき、参加した家族を含め会員の方たちが熱心に聞き入っていました。

よりスタート。初心クラス4名、初級クラス1名、中級クラス2名（こ

こまでのクラスは教材の朗読）、上級クラス、ELクラスからそれぞれ3名とシャントクラス1名（各クラス3分間の自由スピーチ）の14人の出場者が日頃の練習成果を披露し、見

学に同席したご家族の方々から感動の声をいただくなど、会場から大きな拍手が送られました。

最後に吉原先生の講評で的確なアドバイスをいただき、参加者一同とても勉強になりました。

◆吉原先生の講評
皆様のスピーチをお聞きし本当に感銘いたしました。

私は代音音声のリハビリ専門家ではありませんので、講評というよりは感想を述べさせて戴きます。

皆さまの飽くなき努力、情熱などに深く感銘を受けました。私自身に

も勉強になりました。初心から始まり上のクラスに進むにつれ、だんだん発声力が上手くなっていくのだと、スピーチをお聞きし良く理解できました。スピーチ発表された皆さま有難うございました。

銀鈴会の紹介DVDを制作
Webにもアップ

銀鈴会会員は耳鼻咽喉科のある病院からの紹介が多く、また一部の病院へ訪問して術後の患者さん、これから手術を受ける患者さん及びそのご家族の方へ食道発声の紹介を行ってききましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止から病院訪問も思うようには行かない状況が続いております。

2020（令和2）年度に「公益社団法人正力厚生会 がん患者団体助成事業」の助成金をいただき、声を失った方が銀鈴会でどのように声を再び取り戻していくのか、どんな発声方法があるのか、どのような声になるのか等銀鈴会の発声教室の様子を紹介する動画、DVDを作成しこのほど完成しました。この動画はウェブ媒体YouTube、銀鈴会のホームページでの紹介

で行って
おります。
このDVDは教室に出席されている会員の方、また皆さまのお
知り合い
で喉頭の摘出手術を受けられた方、
これから手術を受ける方そのご家族、
病院、学校、官公庁など多くの方にご
覧いただければと思います。
DVDをご希望の方は事務局または各
クラスの訓練士までお問い合わせくだ
さい。

JICA草の根技術協力事業でベトナム訪問訓練

2022（令和4）年12月11日（日）から17日（土）に「JICA草の根技術協力事業」の「ベトナムの喉摘失声者に対する食道発声教室開設と発声訓練体制の確立」という案件でベトナム ホーチミン市の病院で喉摘者への食道発声訓練を行いました。

銀鈴会からは松山雅則、山後政芳、篠清市の3名の訓練士が、ベトナム

あなたを
取り戻しませんか？
—仲間とともに—
公益社団法人正力厚生会がん患者団体助成事業により作成
事業名「喉頭摘出した失声者に対し声を取り戻すための
啓発DVDの作成により社会復帰の支援」

(2)

第9回スピーチ発表会開催

2022年度

家族座談会に先立ち「第9回スピーチ発表会」を開催

今年度最後の座談会は3年ぶりという開催ということもあり、吉原、会員、その家族併せて100名近い参加者がありました。この座談会では、手術による後遺症のお悩み、日常生活でのお悩みを、医学的見知からは耳鼻咽喉科専門医の吉原俊雄先生、日常生活や発声方法などのお悩みについては発声訓練士が、事前

に頂いた19名の会員からのご質問にお答えいたしました。吉原先生には質問者と直接対話しながらの回答をいただき、参加した家族を含め会員の方たちが熱心に聞き入っていました。

◆吉原先生の講評
皆様のスピーチをお聞きし本当に感銘いたしました。

私は代音音声のリハビリ専門家ではありませんので、講評というよりは感想を述べさせて戴きます。

皆さまの飽くなき努力、情熱などに深く感銘を受けました。私自身に

も勉強になりました。初心から始まり上のクラスに進むにつれ、だんだん発声力が上手くなっていくのだと、スピーチをお聞きし良く理解できました。スピーチ発表された皆さま有難うございました。

銀鈴会の紹介DVDを制作
Webにもアップ

銀鈴会会員は耳鼻咽喉科のある病院からの紹介が多く、また一部の病院へ訪問して術後の患者さん、これから手術を受ける患者さん及びそのご家族の方へ食道発声の紹介を行ってききましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止から病院訪問も思うようには行かない状況が続いております。

2020（令和2）年度に「公益社団法人正力厚生会 がん患者団体助成事業」の助成金をいただき、声を失った方が銀鈴会でどのように声を再び取り戻していくのか、どんな発声方法があるのか、どのような声になるのか等銀鈴会の発声教室の様子を紹介する動画、DVDを作成しこのほど完成しました。この動画はウェブ媒体YouTube、銀鈴会のホームページでの紹介

で行って
おります。
このDVDは教室に出席されている会員の方、また皆さまのお
知り合い
で喉頭の摘出手術を受けられた方、
これから手術を受ける方そのご家族、
病院、学校、官公庁など多くの方にご
覧いただければと思います。
DVDをご希望の方は事務局または各
クラスの訓練士までお問い合わせくだ
さい。

JICA草の根技術協力事業でベトナム訪問訓練

2022（令和4）年12月11日（日）から17日（土）に「JICA草の根技術協力事業」の「ベトナムの喉摘失声者に対する食道発声教室開設と発声訓練体制の確立」という案件でベトナム ホーチミン市の病院で喉摘者への食道発声訓練を行いました。

銀鈴会からは松山雅則、山後政芳、篠清市の3名の訓練士が、ベトナム

あなたを
取り戻しませんか？
—仲間とともに—
公益社団法人正力厚生会がん患者団体助成事業により作成
事業名「喉頭摘出した失声者に対し声を取り戻すための
啓発DVDの作成により社会復帰の支援」

(2)

側からは同年5月からリモートによる訓練を開始した喉頭摘出者5名に加え新たに3名の計8名が参加し、月曜日から金曜日の5日間13時から16時半の訓練でした。



新たに参加した3名は、初日は原音がうまく出なくて苦労されていましたが2日目以降は原音も出て、訓練が終わるころには3音程度は出るようになり、中には5音まで出るようになられた方もおりました、リモート訓練を受けていた方も最終日には自己紹介、簡単な朗読にチャレンジして今回の訓練の成果が見られました。

今回の患者さんの中には、バイクで毎日片道4時間掛けて病院まで通って

来られた方もいて、

食道発声

に向けた

熱い情熱

を感じる

ことがで

きました。

また、参加

者全員の

感想はリ

モート訓

練ではな

く対面での訓練を希望しており、今後の課題として検討したいと思えます。

注 JICA = Japan International Cooperation Agency 独立行政法人国際協力機構

春季ボウリング大会速報

早咲きの桜が満開になった街路樹を横目に3月にしては暖か過ぎる日差しの中、高齢(コウレイ)者による恒例(コウレイ)の「春季ボウリング大会」が芝浦「東京ポルトボウル」において17名の参加者によって開催されました。

会場ではボウリング場が主催する各イベントの優勝者などの表彰式が行われたりプロボウラーが最近米国では主流になっているという両手投げの試技

を披露していました。

プレイが始

まると見事

なストライク!

狙いすましました。スベアが決まった瞬間には



拍手(歓声はないけど?)が起きて大会は盛り上がりました。大会の後は例によって田町駅前の蕎麦屋さんで懇親会となりました。

今回の懇親会は初心、初級クラスからの会員さんも初参加されていて話も弾みにぎやかで楽しい一日になりました。

第15回春季ボウリング大会結果
(2023.3.11)

- 優勝者 大野晃一
- 二位 篠 清市
- 三位 大槻 壽

訓練士退任のお知らせ

理事 鈴木 正子氏



鈴木氏は2000(平成12)年に訓練士に委嘱され食道発声、ELの両訓練士として多くの喉頭摘出者を社会復帰させてきました。この間、理事役員に就任して会の運営にも尽力されるなど大きな功績を残しました。長い間本当にご苦労様でした。

なお、理事については6月17日の銀鈴会の定期総会を受けて、その後退任のはこびとなります。

♡賛助会ご加入とご寄付のお願い♡

身近な方々の

ご理解とご協力をお願いいたします。



年会費

- ・法人賛助会員 1口 5,000円 6口以上
- ・個人賛助会員 1口 5,000円 1口以上



古本募金実施報告

2020(令和2)年10月からスタートした「古本募金」は、会員の皆さまのご支援・ご協力により3年が経過しました。2023(令和5)年3月現在、累計募金金額は99,328円、協力していただいたのべ参加会員数403人でした。御礼申し上げます。

公益社団法人 銀鈴会
事務局 杉山 喬

〒105-0004
東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

TEL : 03-3436-1820

FAX : 03-3436-3497

振替口座 : 東京 00160-1-35906

E-mail : office@ginreikai.net

UR : https://www.ginreikai.net/



ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました皆様 令和5年3月末日現在（五十音順 敬称略）

アスロード物流株式会社、株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社オカムラ、三協立山株式会社、泉工医科貿易株式会社、綜研化学株式会社、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、株式会社大和証券グループ本社、大和ハウス工業株式会社、株式会社電制コムテック、東京ガレージ株式会社、原田産業株式会社、株式会社明電舎、株式会社名優、山崎製パン株式会社、株式会社レーサム、SMB C日興証券株式会社、TOTO株式会社、YKKAP株式会社

相澤善也、青山弘、縣信元、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、浅見精二、足立照美 荒川敬子、荒松允之、安西竹蔵、飯島敏禎、五十嵐雅勝、井口英子、石塚康夫、石坂和也、石田研吾、石田光次、市田治弥、井手麻喜子、伊藤譲治、伊藤仁、井上裕子、井上貴之、入谷文雄、岩崎堅司、岩崎伸、岩崎孝義、稲葉保喜、岩見好雄、上榎政隆、内田正利、江口仁、榎本節子、榎本まさ子、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、王美林、大田可奈恵、太田時夫、大田政彦、太田泰史、大貫貞子、大貫美智子、大橋敏男、大場知恵子、大場実、岡崎信彦、岡田悠紀子、岡戸富美子、岡澤秀郎、小川文啓、荻原勇夫、奥澤長子、奥嶋莊一郎、奥原修、小澤哲、尾野有代、笠貫正光、笠貫達也、片山浩晶、片山雅美、加藤滋紀、加藤芙美子、金子豊巳、金崎勝男、鎌形光仁、茅史郎、川井栄助、川谷内俊哉、岸健作、キタノカズキ、城所忠男、喜内敏夫、清田次郎、木村建、沓澤昭雄、沓掛昭雄、工藤剛武、久保田博久、久保力男、久保木昭次、久保田親尊、熊川喜代司、栗原弘、小暮英明、小谷昌司、後藤清、小林あや子、権平清、今野真機子、齊藤隆、斉藤博、斉藤弘道、齋藤隆治、斉藤久江、酒井弘子、坂上昌平、櫻井正身、佐々木昭夫、佐藤勇、佐藤和雄、佐藤久美子、佐藤圭吾、佐藤賢治、佐藤隆史、佐藤英光、佐藤直衛、佐藤泰雄、佐野雅次、佐野幸孝、澤田祐爾、山後弘子、山後祐介、山藤誠、鹿内健悦、重松康男、宍倉信子、宍倉康雄、篠清市、篠奈津子、篠原淑浩、篠美登里、篠田乃武子、柴田清、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水好廣、清水保良、七五三和夫、下里岩二、正願地孝子、白井芳郎、白川充彦、新堀政由、杉山喬、鈴木綾子、鈴木邦忠、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木光子、鈴木敏彦、砂長治、声友クラブGA生、相馬麻衣子、高田耕吉、高野紘造、高橋孝壽、高橋剛、高橋敏夫、高橋もと子、高橋保夫、高原明美、滝沢勇、武内進、竹内康子、武田達幸、武田祐爾、建部祐子、玉木孝昇、田本土郎、坪井文雄、つくく♂、丁睿朗、寺尾徹、寺澤永祥、栃木謙治、栃木芙美子、中駄義光、永田洋、中台庄次、中西正夫、中村隆行、中村忠孝、中山義信、西野宏、西村恵三郎、新田清剛、萩原勇夫、蓮見実、速水康晋、長谷川正一、長谷川良克、畑睦雄、馬場茂、浜野耕平、濱野実、林繁、林宏一、半田建二、半野田重俊、引間善二、檜森聖三、平澤玉吉、平野功 平林育宏、速水康晋、廣田冬樹、福田敦子、福山幸伸、舩越建治、古部貞雄、寶崎和人、星芳文、堀満、堀池泰之、堀江知江子、本田学、前田和夫、牧野清、正木東彦、増田惣一、増田正毅、榎谷均、松枝清二、松清平、松島兼行、松嶋宏、松田行雄、松田幸雄、松本淳一、松本博、松山光志、松山雅則、松山雅哉、水島雅晴、三浦和子、三上洋二、三田村一雄、宮原厚夫、宮本貢、村上憲聖、村本高史、百瀬秀夫、森本孟子、諸橋茂、八木健、八木又一郎、矢代三江、矢島藤人、安野智、谷田部元吉、築昭子、屋中一夫、山岡弘尚、山岡義雄、山岸正央、山口明、山口平男、山崎岩男、山田捷二、山田三津恵、山田善宣、山寺勉、山藤誠、山本勇、山本一雄、山本和紀、横井俊三、横沢孝二 與座英夫、吉田久乃、吉野充聡、吉原東洋輝、脇坂佳二、脇田誠照、和田敦子、和田重章、和田義文、渡辺恵一、渡邊幸一、渡辺俊一、渡邊鐵雄、渡邊みゆき、渡邊操、訓練士親睦会、上級クラス一同、シャントクラス一同、F. H、F. K、H. M、K. A、N. M、N. T、O. Y、S. M、T. K、Y. N、Y. Y、Y. S